

## 【レッグベルト締め忘れ防止策】

\*確実にテイクオフを止める方法：para world 2023. Winter 扇澤 郁

頭上安定が出来ていない。その為締め忘れに気付けない。もしくは気付いてもテイクオフを止められない。つまり確実に頭上安定をして、確認してから助走するというテイクオフの基本に立ち返る必要がある。

止まることは決して難しい技術ではない。緩斜面ならば両方のブレークコードを引き切ってフルブレークで足を止める。急斜面ならば片方のブレークコードだけを引き切って斜面を斜めに走ることで止まる事が出来る。

\*レッグベルト付け忘れ：para world 2023. Winter 岡田直久

一番大切なのがスタートチェックと取り止めが出来る頭上安定なのは言うまでもありませんが、それ以外に2つ。ハーネスを背負ったらバックルをつけるという事と、準備をしている人に話しかけない。これは準備の手準を間違える危険性があるからです。もちろん準備している本人がお喋りをしながら準備するなどはあってはなりません。ザックを開けて準備を開始したら、いつでも同じ手順で準備を行います。

クロスチェックは果たして有効なのか？：クロスチェックをした人が何かしら見落としで、パイロットがトラブルに遭った場合、この責任は誰が取るのでしょうか？ クロスチェックをするくらいであれば、自分で最終チェックをすればいいのではないかと思います。そして、万が一に備えて、シミュレーションしておくことも大切です。シミュレーターにぶら下がり、どのような体勢になるのかや、どれほど持ちこたえられることができるか、どのような対応が考えられるか・身を持って体験しておくことは、裏を返せば、スタートチェック、頭上安定の重要性を再認識することにつながるはずです。

\*JHF 死亡事故第一位：JHF 2021.03.20

レッグベルトを付け忘れて飛んでしまった時、パイロットが取れる行動は3つです。

1. すぐ木に不時着する：対地高度が高くなる前に森に不時着する。しかし、森に突っ込んだ衝撃でハーネスから落下する可能性が高い。また、数メートルから最大30mくらい落ちる可能性もあります。
2. 着陸場所まで耐える：ハーネスにしがみついたまま、着陸地点や広場まで耐える。しがみついた状態で耐えられるのは、3~5分程度ではないかと言われています。付け忘れで亡くなった方は、ほとんどがこのパターンです。筋力が強い方や、山が低くて飛行時間が短ければ耐えられるかもしれません。
3. 逆上がりしてハーネスに座る：腹筋を使い、足を振り上げて、ハーネスに座るというアクロバティックな対処法です。できなかった場合は、体力の消耗が激しいです。

\*JPA 2021.03.05 最初から付け忘れる場合はほとんどないと思います。

一度装着してからスタートするまでの間に何かがあって、外してしまったのを忘れてTOしてしまうケースではないでしょうか？

何かは：風待ち（暑い、苦しい等）、他者への手助け等。

再確認しなかったり、フロントコンテナが邪魔して不備が見えなかった。

\*各エリア毎のルール

- ・無線にてベルト装着報告、確認後フライト。
- ・クロスチェックにて確認。
- ・携帯電話はハーネスでなく、服のポケット等身に付けておく（トラブル時ライダー本体と離れてしまう）。

◎ 基本動作とは、どのような事なのか見直すよい機会と捉え、より安全に努めていきましょう！

### 【パラグライダーの欲求五段階説】

第一段階：風が悪くても、仲間が心配しても、家族に止められても、体調が悪くても、装備が不備でも、技術・知識が不足でも、時間に拘束されてもなんでもいいからパラグライダーで飛びたい。

\*生理的欲求

第二段階：TO・LDを失敗したくない、潰れたくない、目測を誤まりたくない、空中接触したくない、痛い思いをしたくない、トラフィックルールを守って安全にパラグライダーでフライトしたい。

\*安全の欲求

第三段階：エリア及び他のフライヤーに迷惑をかけたくない、他のエリアと一緒にいきたい、みんなと一緒に楽しいビックなパラグライダーフライトをしたい。

\*社会的欲求

第四段階：ビックフライト後意見交換したり、パラグライダーの実力・実績を精神面及び社会的責任含めて仲間に認められたい。

\*承認欲求

第五段階：上記1~4の欲求が満たされると、人が行動を起こす動機は「自分の能力を活かしてさらに成長したい」（成長動機）となる。パラグライダーで自己実現したい。

\*自己実現欲求